

小海町議会議員一般選挙公報

令和7年4月20日執行 小海町選挙管理委員会



井出 和人

○年齢 七十五歳・職業農業 親沢
○町議会総務産業常任委員長

活力ある小海町に！

● 農業、林業振興に努めます。

・林業

○カラマツ林整備高上補助事業交付金の利用促進を広めます。

○カラマツ主伐後の再造林、保育10年保証制度の利用を支援します。

○人工林の約六割が主伐期を迎えています。計画的な主伐・再造林が必要です。各種制度資金の積極的導入を広めます。

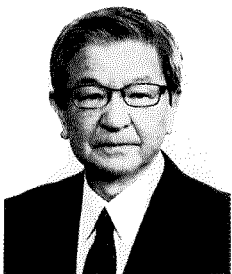
○森林と観光・環境・教育・健康等・森林の多面的な機能を結び付けた都市と山村との交流を促進します。

・農業

○遊休農地、荒廃農地の解消に取り組みます。

○農業資材の高騰による収入減少を解消するため努力します。

○畜産農家からの堆肥購入補助、緑肥用種子等従来からの補助金の充実に努力します。



菊池 一巳

町を活性化し、移住者を増やし、過疎からの脱却を

図るため、全国の自治体の成功事例を考察すると、地

域の恵、財産、資源を活かし切った行政手法が成功の

決め手となっています。幸い町には先達が築きあげて

きた、福祉、医療、教育、文化施設、スポーツ施設、

など豊かな財産を有しております。これらの財産、資

源を創意工夫により十分に活かしければ、地域活性化、

移住者の受け入れ、子育てしやすい環境づくり、過疎

からの脱却も実現可能だと考えます。これらの政策具

現化のため、議員として提案提言をし、物言う議員と

して活動したいと思います。又、町内の独居世帯、老

老介護世帯、昨今の物価高に喘いでいる生活弱者とい

われる皆さんに寄り添い、小海町で暮らし続けること

が「幸せ」であるために、皆さんの声を、町政につな

げ、優しい町づくりのための活動をしてまいります。

一緒に未来を考えよう！

今を生きる私たちには、この小海町、日本をより良くして次の世代へ引き継ぐ責任があります。そのためには他でもない、私たち一人ひとりが学び、考え、そして声を発していく必要があるのではないのでしょうか。この町、この国で未来を生きる子どもや孫、そしてさらにその次の世代の日本人が幸せに生きるためには、『今』、私たちが何をしなければならないのか、一緒に学び、考えていきましょう。

プロフィール

昭和55年生まれ

《学歴》 高校中退後 大検取得
東京理科大学 理工学部土木工学科 卒業
東京理科大学大学院
理工学研究科土木工学専攻 修士課程 修了
《職業》 会社役員

《小海町との関わり》

小海小学校、小海中学校 卒業
小海町商工会小海支部、青年部 所属
(ふるさと祭りぎおん祭、清流ふれあい橋ビアガーデンへの参加)
小海クラフトビール企画販売、小海駅前コミュニティスペース運営

《好きな物、趣味》

ビール、焚き火
サウナ、Youtube 鑑賞

私は、下記の実現を目指します。

1. 休日・夜間議会の開催

老若男女、日中に仕事を持つ人も、より参加しやすい議会を目指します。

2. 郷土愛を育む学びの場の創出

住民みんなで小海の未来を創るため、学び合いの場を作ります。



黒澤 敦史

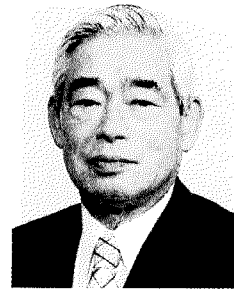
参政党

くろさわ あつし

44歳

小海町議会議員一般選挙公報

令和7年4月20日執行 小海町選挙管理委員会



品田 宗久

豊かな自然と、人と人とのつながりを大切に、次の世代の子供たちが希望のものをまちづくりをしたい。

地域の中で子供たちが成長する環境づくり。

地域医療と持続可能な共生社会への取り組み。

身体的、精神的、社会的に良好な状態を達成するウェルビーイングの推進。

小海線の活性化を軸に、地域のつながりを再構築する。

憩うまちこつみの協定企業とのCSR（企業の社会的責任）の連携。

ひとりひとりが大切にされる町づくり



日本共産党
まとのみかこ
小海町議会議員4期、町議会総務産業常任委員、議会運営委員会副委員長、国保連協・介護保険委員、社協理事

コロナ禍以降の物価高騰で暮らしはますます大変に。国は大軍拡を押し進める一方で医療・介護をはじめとする社会保障や、子育て・教育予算を出し渋り、くらしに直結する消費税減税には手を付けようとしません。食料自給率も上がるどころか、主食である米までもが危機的状況です。

こんな時こそ、いのち・くらし・地域を守る、誰もが安心して暮らしやすい町政にするために、全力でがんばります。

私の提案

●くらし応援

・町独自の物価高対策を

●福祉の充実

・国保税・介護保険料の負担軽減

・介護の充実、ケア労働者の処遇改善

・小海分院存続で地域医療を守る

・障害者の働く場所づくりと安心して暮らせる施設を

●子育て推進

・未就学児保育の無料化と保育環境の充実を

・子どもの医療費窓口払いゼロに

・小海高校存続を

●安全・安心の町

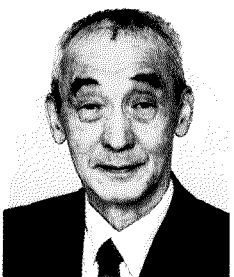
・地域防災計画の充実と実践的訓練を

・買い物・外出支援へ公共交通の充実

●ジェンダー平等の町づくり

・ハラスメント防止条例を

憲法9条守り 企業・団体献金禁止
消費税5%減税で、新しい政治を



鷹野 文則

小海町の住み慣れた家で、地域で地域に愛着を持ち、安心して暮らし続けたい。

誰もが、住み慣れた家で、地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを目指してがんばります。

暮らし続けることが出来る社会は地域包括ケアシステムの定義ですが介護だけではなく、まちづくりの根幹です。暮らし続けられる町の創出を提言していきます。

●様々な働く場が必要

◇住み続けるには生活基盤となる職場が必要・

また、小海以南での人材確保は厳しいのか探求し解決策を探る

●子供から高齢者まで、色々な世代が暮らす町

◇子供から高齢者までいろいろな世代が集まり一緒に暮らすため、保育施設等の充実や買い物ができる場所等の交流の場の創出

●インフラ整備と安全対策

◇交通インフラの充実による活性化と経済発展

●医療福祉の更なる充実

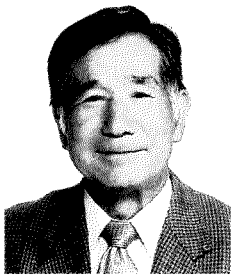
◇他地域と比べ整備された地域であるが、更なる発展のためのテコ入れが必要

●環境に優しい施策

◇地域の緑化活動やエコロジカルな交通手段導入

小海町議会議員一般選挙公報

令和7年4月20日執行 小海町選挙管理委員会



藤原 満

○支障木の一刻も早い除去
何が危険か

停電の原因になる立木 事故につながる落枝や倒木
擁壁上部の立木の放置に伴う巨木化阻止
空家の庭木の巨木化、住宅近接の庭木は厄介
特殊伐採になりやすく処理費用が高額化
新たな支障木を作らない早期対応
地権者の自覚と行政指導との連携で早めの伐採計画の促進

○U字溝の排水機能の保持

落ち葉による排水機能低下で道路冠水して対面路肩の土砂崩れ誘発
溝内に連結の暗渠配管を伏せて水路確保することで排水能力を維持する。

○サンフラワー事業の展開

ひまわりの苗の配布
どこに植える
遊休農地 空き地 道路脇等景観のアクセントに収穫 花が終わり種が膨らんだら花を切り離し天日干し 鳥に食べられないように注意
保存 花から種を外して保存 来年また撒く。

○ヒマワリがもたらす恩恵を広める。

景観を変える 荒地地をお花畑に変えよう。

○山林にもっと関心を

広葉樹林定期主伐の推進 20年周期
林業従事者の育成
安全講習会受講者の募集 講習受講料の補助
ソーチェン目立て技能の習得
安全伐採技能向上体験会の定期開催
特殊伐採技能者の育成 農閑期の副業
体験会の動画撮影で安全作業意識の植え付け

小海をより良い町へ！

①若年層定住のため、住宅不足問題に取り組めます。

・既存の空き家活用をはじめとした、住宅問題に意欲的に取り組んでいきます。

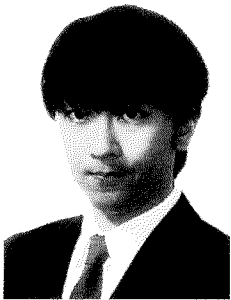
②議会をもっと身近に、町民みんなのものにします。

・ITを用いた議会改革により、議員の活動や議会の内容をより身近なものにします。

③若者の力を高め、若い力を小海の力にします。

・意見交換の場を定期的に設け、若者が積極的に政治に関われる機会をつくれます。

しがらみのない移住者目線と若者目線を用いて、議員が一丸となり町のために活動できる環境を構築します！



なかむら
中村 けいた
29歳

略歴 1995年生まれ。インド、アメリカでの海外経験を経て、帰国後に慶應義塾大学商学部に入學。
2021年、大学の仲間と協力隊として小海町に移住。親沢地区にてワイン用ぶどうの栽培を開始。

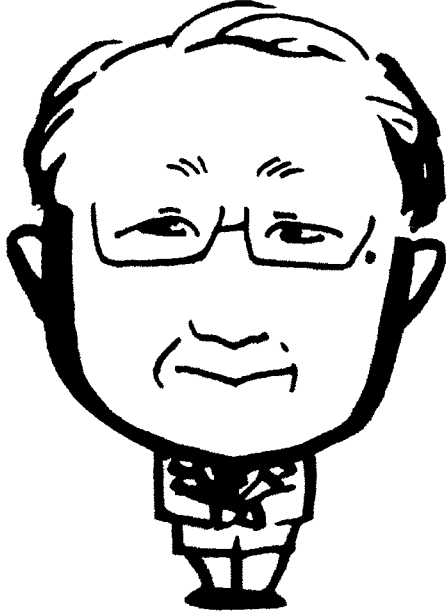


こいけ
小池よしあき

私達は、人との支え合いの中で生活しています。
「助け合い」から「感謝」が生まれ「絆」となります。町民の皆様の「絆」を信じて安心安全な小海にして行きたいと思っています。

私は、四十四年間のホテル勤務で培った接客で町民に寄り添ってまいります。

小池よしあき という男



安心安全で暮らしやすい小海

- 1 議会議員定数の削減
- 2 安心安全面の強化
- 3 次世代を担う子育て支援
- 4 定住者促進更なる強化
- 5 自然資源で観光の活性化
- 6 中部横断自動車道早期着工推進

小海町議会議員一般選挙公報

令和7年4月20日執行 小海町選挙管理委員会

プロフィール

- ・昭和27年生まれ 73歳
- ・八那池 農業
- ・南佐久実業高等学校卒
- ・元 町職員
- ・元 八那池区長
- ・元 豊里林野水利保護組合議長
- ・元 小海町開発公社副理事長

趣味他

友人とのゴルフ
ハヶ岳(稲子岳)のこま草保護活動
嗜む程度のお酒 etc.



こいけ けさゆき
小池今朝之

地域に自慢できるような

明るいつづくり

雇用の場の創設

- ・近隣町村共通課題である雇用(就労)の場対策
- ・地域連携による取り組み推進
- ・中部横断自動車道の早期開通を願い生かす取り組み

町と議会のありかた

- ・町と議会(町民)がスクラムを組み町の発展を目指す
- ・互いに智恵を出し合い協力しあう町
- ・是々非々の心で町民目線に立ったつづくり



古谷恒晴

小海町を魅力的な町にします

子育て支援を推進します

町民全員で子供たちを

教育します

議会改革を行います

議員定数削減

議員給与問題

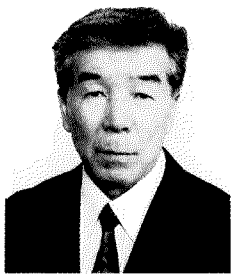
議会の仕組み改善

議会を夜 及び休日に

開会 等

議会と行政と連携して

町の発展に努めます



しのはら
篠原てつお

みんなのふるさと
小海を元気に

少子化対策・人口減少に歯止めを

- 子育て世帯住宅取得事業・子育て支援事業等のさらなる拡充と活用促進
- 本間村上団地分譲地の販売促進
- 小海町空き家等対策事業補助金のさらなる拡充
- 空き家バンクの充実を図り移住・定住促進及び空き家の利活用の推進

高齢者・障がい者支援等充実強化

- 福祉住宅の建設・町営住宅の新築改修の促進
- 新交通体系の充実促進

農業振興について

- 持続可能な小海町の農業振興の推進
- 荒廃農地・遊休農地の利活用を推進

商業・工業・観光業の事業推進

- イベントの開催による交流人口の促進

小海リサイクルセンター跡地について

- 小海リサイクルセンター残廃棄物の適正処理

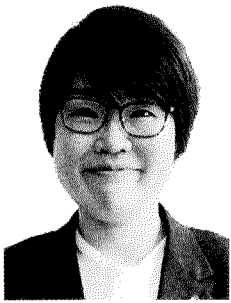
<プロフィール>

昭和28年 小海町生まれ 北牧小学校・小海中学校卒業
白田高等学校卒業 長野県農業大学校卒業
元本間区長
令和3年4月 小海町議会議員初当選(現在1期目)
小海町議会副議長(現職)

小海町議会議員一般選挙公報

令和7年4月20日執行 小海町選挙管理委員会

福祉も子育てもいちばんの町へ



渡辺あき子 日本共産党

私の提案

- くらし応援——国・県頼みでない町独自の物価対策を
- 福祉の充実——国保税・介護保険料の負担軽減、介護の充実、ケア労働者の処遇改善、小海分院存続で地域医療を守る、障がい者の働く場所づくりと安心して暮らせる施設を
- 子育て推進——保育料・子どもの医療費完全無料化を、いつでも安心して相談できる体制を
- 安全・安心の町——災害に強い町へ、町にあった公共交通、農林業・エネルギーの地産地消
- ジェンダー平等の町づくり——ハラスメント防止条例を

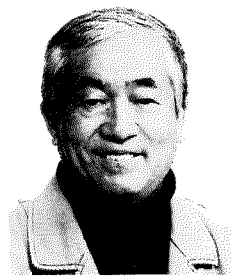
憲法9条守り 企業・団体献金禁止 消費税5%減税で、新しい政治を

障がいがあってもなくても、みんなにやさしい町に。子どもたち、親たちの声をしっかりと聴いて、本当に意味のある子ども家庭センターの設置を。どなたもが「小海に住んで幸せ」と心から言える町づくりを、今後みなさんとすすめさせていただきます。

ひとりひとりに寄り添える あたたかさを大切に

1980年生まれ。神奈川県藤沢市出身。東海大学教養学部国際学科卒。夫と小海町に移住して9年。小海町議会議員1期（民生文教常任副委員長、中学校組合議員、子育て支援推進委員など）。宿渡在住。TEL/FAX88-7269

普段着の民主政治（デモクラシー）を実践する



わたなべ 渡辺ひとし

①住民主導のまちづくりを推進します

- ①パワハラは厳禁。職員が自由闊達に働ける職場環境の整備に尽力します。
- ②住民の参加意欲を喚起する政策を提案、実践します。

②町を支える医療（介護、福祉）と教育（子育て等）の充実

- ①小海は、医療と教育で支えられます。医療と教育を基幹産業として町の再生を図ります。
- ②高齢化しても老齢化しないケアサービスを進め、小海の年寄りには元気だね、と言われる町づくりを進めます。
- ③孟母三遷、教育移住者を生み出す教育行政を提案します。

③夢／希望が実感できる長期振興計画を再提案し予算を配分

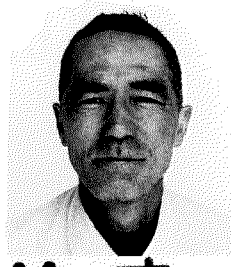
- ①思い付きの構想では、夢も希望も得られません。確かな計画で成果を生み出します。
- ②無いものねだりから、有るものを活かす方針に転換します。

④予算は、コンクリートから人へ

- ①箱もの行政を見直し、住民が支え合い、温もりの通い合う地域づくりに予算を回します。

⑤民意を反映する議会改革の推進

- ①汗を流し、知恵を出し、言ったことはやる、やったことを言う議会に転換します。
- ②若い世代の参加を促す歳費と、論議を生み出す議会に転換します。



ささきみとむ 佐々木認

百聞は一見に如かず

小海町と議会をもっと知りたい農業系ユーチューバーです
議員活動と小海町の各種情報をYouTube・SNSで強力に発信します

詳細な意見記載の両面フルカラーのビラは、17日か18日の新聞折込と、街頭演説会場で配布します

一見豊かな都市部には、畑も山もない 農業がない 水や食糧の備蓄もない なんと薄っぺらな豊かさよ 小海町では、自然に囲まれ、清流も農地も山もある 農業がある、地域の仲間もいる なんと深い豊かさか だけど、だんだん迫っている お金に依存する生き方 四季には恵みがあるのに、木々と縁があるのに ゆらぎがあって、調和がある そこに神が居るのに 食卓を彩り、薪が焚けて、心身癒えて、神に会えるのに お金、食品を、健康を、教育を、電気を、生活を費やす お金がないと、暖が取れない 煮炊きも出来ない 食べられない 家族が割れる 生きていけない 心も、どんどん貧しくなっていく そこに神はいない 気付かぬ豊かさを失う前に、その大切さを五感で感じて 今まで、伝え、守ってきたけれど、両親と地域に 先祖代々、氏神様に感謝して、守り続けたい 今の豊かな小海を残したい 子々孫々に伝えたい 小海町が、いつまでも平和でありますように

子供達には投票権がありません
子供達の今を、夢を、見て、聞いて
話して、感じて、応援して下さい
子供達の夢を背負って、投票して下さい

Facebook
YouTube
選挙期間中
↑ポスター・ビラ他をフルカラーで配信
↑街頭演説を動画配信

投票日は

4月20日（日）です

投票時間は

午前 **7時00分**から

午後 **7時00分**までです

これからの町を決める大切な選挙です。
必ず投票しましょう！